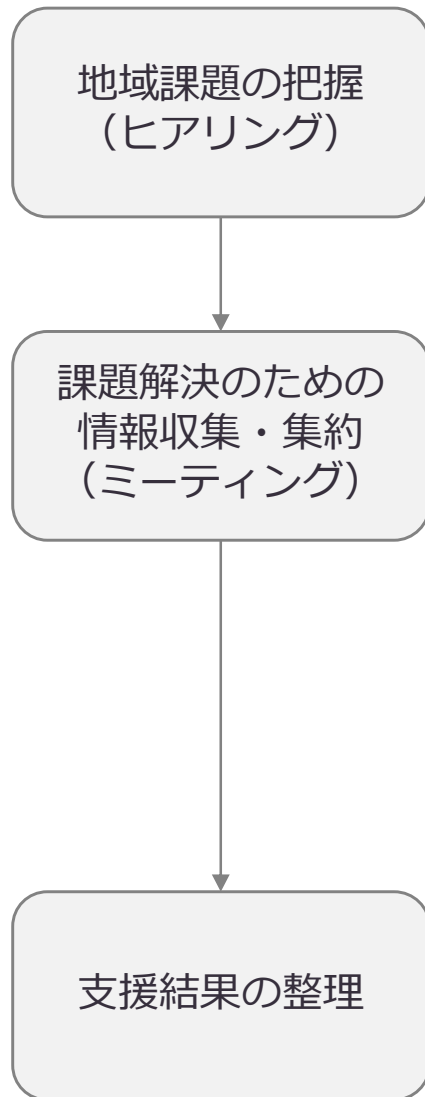


# 個別地区支援の「とりまとめ役」について

- 準備会によるサポートを希望された個別支援地区（ユーザー会員）のうち、サポート会員各社からの各種技術情報・提案の集約や概略構想づくりのための支援を必要とする地区については、「とりまとめ役」を設置することとしており、サポート会員の皆様に御協力をお願いしています。

## 概略構想づくり支援手順



## 「とりまとめ役」の役割

**個別支援地区の地域課題と情報通信環境整備による解決の方向性を整理してください。**

- 個別支援地区担当者とのコミュニケーションを密にとり、地区の課題、必要とする技術、今後の進め方などをヒアリングし、整理していただきます。
- 担当者から、「まず現場を見てほしい」といった希望が寄せられますので、まずは担当者との対面でのお打合せや現地確認が必要とお考えください。
- 地域課題の把握のために、個別支援地区内でのワークショップや勉強会の開催が必要な場合には、準備会事務局でサポートが可能ですので御相談ください。

**地域課題の解決に役立つ情報通信技術情報をサポート会員から収集してください。**

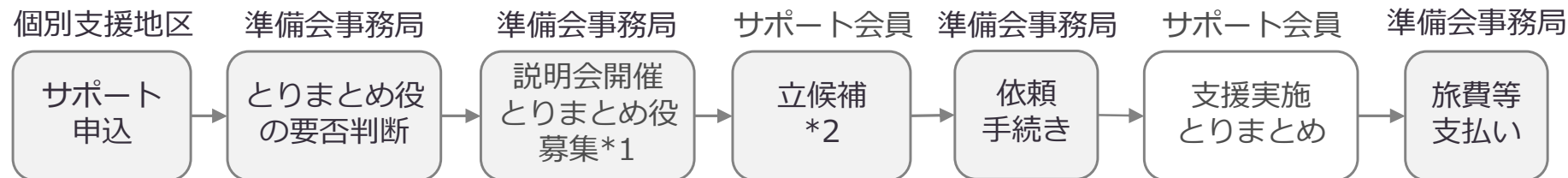
- サポート会員からの情報収集のためのミーティングを開催し、司会進行してください。
- 想定するミーティング参加者：(a) 個別支援地区担当者、(b) サポート会員、(c) 農政局、(d) その他関係者(都道府県、土地改良区、JA、地方総通局等)、(e) とりまとめ役
- ミーティングの流れ
  - (1) 個別支援地区担当者からの現状の課題の共有
  - (2) サポート会員各社から、課題に即した技術の紹介
  - (3) 質疑応答、ディスカッション
- ミーティング序盤の段階で、ユーザー側とサポート側双方の「目線のズレ」※の解消を図るように調整し、支援の大まかな方向性（想定する予算規模（上限）、事業化のスケジュール感、最低限必要な成果の内容（概略構想づくり、概略事業費試算等）を参加者で共有してください。  
※目線のズレ：例えば、地方自治体は「地域振興」、土地改良区は「維持管理費の低減」、農家は「儲かる農業」、サポート会員は「営利」など、関係者それぞれの立場での目的達成のために生ずるのズレのこと
- オンラインでの開催でも構いませんが、可能な範囲で現地での開催を御検討ください。

**ヒアリングやミーティングを通じて、地域の課題、技術的方向性、概略の構想づくりのための支援結果を整理し、提出いただきます。**

- 方向性を見いだすために複数回のミーティングが必要なケースもあります。個別支援地区担当者と十分に相談していただいて可能な範囲でご対応ください。

# 「とりまとめ役」の依頼手続き

- 準備会事務局から、対象とする個別支援地区毎に説明会を行い、「とりまとめ役」を募集します。とりまとめ役をお引き受けいただけるサポート会員の方は立候補をお願いします。



- \*1 オンライン説明会にて個別支援地区担当者より地区の現状等を説明いただきます。その上で、とりまとめ役を募集します。
- \*2 立候補者多数又は不在の場合には準備会事務局にて調整します。

## ■ とりまとめ役をお引き受けいただける場合

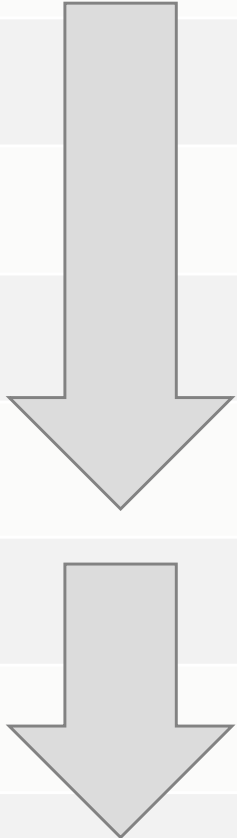
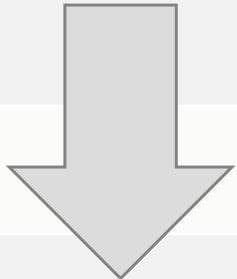
- とりまとめ協力金をお支払いします（支払予定金額：10万円）。
  - ≫ 実施内容の報告をしていただき、年度末までに一括してお支払いします。
  - ≫ 振込先口座は準備会会員名義口座に限ります。
  - ≫ 予算上限に達し次第受付終了となります。

※現地訪問にかかる旅費も別途支給します（とりまとめ役のほか、当該地区のサポート会員も対象）

## ■ とりまとめ役への期待

- 準備会の支援は単に技術を紹介して終了となるのではなく、地域における課題と技術のマッチングが重要です。個別支援地区担当者は、自ら抱える課題がどんな技術で解決できるのか、筋道が付かないケースがありますので、そこを伴走し、一緒に考えて解を見いだすような支援が理想です。
- 関係者間でそれぞれの立場での目的の違いから「目線のズレ」\*が生じることが想定されます。手戻りが生じないよう、まず、事業実施主体の想定する規模感等（予算規模、事業化のスケジュール感等）を把握し、関係者間で共有して共通認識として下さい。
- また、準備会サポート会員は様々なバックグラウンド、専門技術をお持ちの企業に複数参加いただいておりますので、積極的に情報共有、相談しながら進めて下さい。

# 個別地区支援の基本スケジュール（案）

	実施内容	(参考) 交付金申請関係
7月	上旬～中旬：個別支援地区説明会（複数回に分けて開催） とりまとめ役、サポート会員の募集	
8月	～上旬：支援体制（とりまとめ役、サポート会員）の決定 中旬～：活動開始	
9月	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域課題の把握               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当者と打合せ</li> <li>・現地確認</li> <li>・ワークショップ、勉強会の開催</li> </ul> </li> <li>○課題解決のための情報収集・集約               <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポート会員からの技術情報・提案の集約</li> <li>・ミーティングの開催</li> <li>・概略構想づくりのための材料整理</li> </ul> </li> </ul>	
10月		R7要望量調査（3回目）
11月		事業申請資料準備
12月		新規採択地区ヒアリング
1月	 <ul style="list-style-type: none"> <li>○支援結果の整理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の経過、地区の現状・課題、技術情報等の整理</li> <li>・概略構想づくりのための素案整理</li> </ul> </li> </ul>	R7要望量調査（4回目）
2月		事業申請書資料提出
3月		財務実施計画協議
	中旬：支援結果の提出	